

第 5 回 (2023 年度) 支援対象活動及び実施者等の計画書

1 榎野川河口干潟再生活動 2023

(1) 活動計画

団体名	榎野川流域連携促進協議会、榎野川河口域・干潟自然再生協議会
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全、 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動
活動目的	地域住民・企業・大学等のボランティアの協力を受け、アサリ再生活動等を実施し、干潟環境の改善を図るとともに、地域住民等の親水性の向上等に寄与する。
活動場所	榎野川河口干潟（南潟）、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所
活動内容 ・計画	<p>2008 年度から南潟において住民参加型の干潟再生活動（干潟耕耘等）を実施している。活動は、例年春にイベント形式で開催し、地域住民、企業、大学等の多くのボランティアの協力を受けている。2023 年度は以下のとおり実施する。</p> <p><イベントの概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 実施日：2023 年 4 月 22 日（土） ● 場 所：榎野川河口干潟（南潟）、旧山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所 ● 主 催：榎野川流域連携促進協議会、山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所 ● 協 力：あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)伊藤園山口支店、(株)積水ハウス山口工場、水産大学校、山口大学、山口県立大学等 ● 参加者：150 人程度（募集） ● 内 容 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染予防の徹底をしながら、例年実施している自然再生活動のイベントを工夫して実施する。 ・榎野川の恵みを味わう試食会（山菜の天ぷら） ・寄附付き商品の販売（あゆ飯、ふしの干潟せんべい）、募金活動 ・アサリ再生活動（被覆網のメンテナンス、アサリ稚貝の育成）

(2) 活動予算

申請金額	200,000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い (200,000 円)		
支出予算	応募案内中の表 1：①～⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
	印刷費	4,000	イベント配布資料 (300 部)
	保険料	6,000	ボランティアの傷害保険代 (20 円×300 人)
	消耗品費	30,000	ボランティア用の飲料 (100 円×300 本)
	消耗品費	30,000	熱中症対策用の塩分タブレット等購入費 (150 円×200 人)
	消耗品費	5,000	寄附付き商品発注費 (ふしの干潟せんべい) (100 円×50 個)
	消耗品費	100,000	榎野川の恵みを味わう試食会準備費用
	消耗品費	25,000	アサリ再生活動資材購入費
	合計	200,000 円	

2 被覆網のメンテナンス・交換

(1) 活動計画

団体名	榎野川河口域・干潟自然再生協議会
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 干潟環境の向上・保全、景観の保全 <input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性の向上、漁場環境の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング <input checked="" type="checkbox"/> その他、干潟等の保全・再生に関すること。
活動名	被覆網のメンテナンス・交換
活動目的	<p>榎野川河口干潟（南潟）において、実証試験や干潟再生活動を通じて、現在、約250枚の被覆網を設置している。</p> <p>近年、被覆網の設置枚数が増加し、定期的に被覆網をメンテナンス（洗浄）して再利用しているが、老朽化が著しく、破損したものが増加しており、被覆網を用いた調査やアサリの再生活動に支障が生じつつある。</p> <p>特に、アサリの再生は、ふしの干潟いきもの募金の寄付者が活動成果を実感できる仕組みづくりとして重要な位置づけであり、干潟再生活動やモニタリング等の機会に、ふしの干潟ファンクラブ等のボランティアに御協力いただき、被覆網を交換する。</p> <p>また、老朽化した被覆網が溜まっており、回収する。</p>
活動場所	榎野川河口干潟（南潟）
活動内容 ・計画	<p><被覆網のメンテナンス・交換活動></p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の被覆網の設置時期、枚数等は、下表のとおり。 被覆網の設置場所の調査状況及び破損状況等を確認し、被覆網の交換場所をWG委員間で協議し、干潟再生活動やモニタリング等の機会に、ふしの干潟ファンクラブや一般ボランティアの協力を得ながら、被覆網を交換する。 破損せず、藻が付着しているのみの被覆網は、メンテナンス（洗浄）し、再利用する。 老朽化や破損して使用できなくなった被覆網を回収する。



(2) 活動予算

申請金額	200,000円 <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い（200,000円）									
支出予算	応募案内中の表1：①～⑦の項目ごとに記入してください。									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額(円)</th> <th>内訳(積算根拠)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td>200,000</td> <td>被覆網（3m×3m） 40枚</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>200,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)	消耗品費	200,000	被覆網（3m×3m） 40枚	合計	200,000	
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)							
	消耗品費	200,000	被覆網（3m×3m） 40枚							
合計	200,000									

3 カブトガニ幼生生息調査・観察会

(1) 活動計画

団体名	カブトガニワーキンググループ 原田 直宏 (山口カブトガニ研究懇話会)
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> 環境学習等の親水活動 <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・モニタリング
活動名	カブトガニ幼生生息調査・観察会
活動目的	山口湾は、絶滅危惧Ⅰ類「カブトガニ」の産卵場・生息場として全国的にも重要な地域である。干潟におけるカブトガニ幼生の生息状況等を調査することで、生息や産卵に適した環境の再生・保全に寄与する。
活動場所	山口湾干潟 (長浜・南潟)
活動内容 ・計画	<p><概要></p> <p>長浜及び南潟において、夏季の干潮時に年 1 回ずつ、県内外のボランティアや山口大学等の協力を受け、カブトガニ幼生の生息状況を調査する (平成 20 年度 (2008 年度) から継続)。また、子ども等を対象にしたカブトガニ観察会を開催し、山口湾の自然や生き物に対する関心を高めるための啓発を行う。</p> <p><調査方法></p> <p>調査は、ベルトランセクト法により実施する。区域内に 1km の調査ラインを複数 (長浜区: 20 ライン、南潟区: 5 ライン) 設定し、調査者は、ライン上を歩きながら、発見したカブトガニの①個体数、②前体幅 (齢数を推定するため)、③発見地点 (GPS を使用) を記録する。長浜の調査は 8 月下旬に 50 人程度で、南潟の調査は 9 月上旬に 20 人程度で実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>長浜</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>南潟</p> </div> </div>

(2) 活動予算

申請金額	50,000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 概算払い (50,000 円)		
支出予算	応募案内中の表 1: ①~⑦の項目ごとに記入してください。		
	区分	予算額(円)	内訳(積算根拠)
	保険料	2,400	参加者の傷害保険代 (20 円×120 人)
	消耗品費	14,000	飲料 (100 円×140 本)
	消耗品費	30,000	塩分タブレット等購入費 (250 円×120 人)
	消耗品費	3,600	調査用の事務用品、電池、冷却材等
合計	50,000		